

**京都市はぐくみプラン<2025-2029>
(京都市子ども・若者総合計画)**

参考資料 資料集

目 次

1	京都市はぐくみ推進審議会	・・・P1
2	前計画の概要と進捗状況	・・・P6
3	市民ニーズ調査・意識調査の結果	・・・P7
4	市民意見（パブリック・コメント）の募集結果	・・・P9
5	子ども・若者からの意見聴取の取組	・・・P10
6	幼保推進部会からの意見書	・・・P11

1 京都市はぐくみ推進審議会

<https://www.city.kyoto.lg.jp/templates/shingikai/hagukumi/0000235526.html>

(1) 概要

設置年月：2018（平成30）年4月1日

委員定数：30名以内（必要に応じ特別委員を置く。）

委員任期：2年

委員構成：市民公募委員、有識者、子ども・子育て支援事業の従事者
若者支援事業の従事者、労働者・企業経営者 等

(2) 趣旨・目的

子ども及び若者に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関し必要な事項並びに当該施策の実施の状況に関する事項について、調査し、及び審議するとともに、当該事項について市長に対し、意見を述べるための機関として、並びに次に掲げる規定に規定する合議制の機関として設置するもの。

- ・児童福祉法第8条第3項
- ・就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第25条
- ・子ども・子育て支援法第77条第1項

(3) 部会等

【児童福祉分科会に設置する部会】

- ア 児童支援部会
- イ 里親部会
- ウ 市営保育所移管先選定部会
- エ 認可・確認部会
- オ 障害児通所支援事業所選定部会
- カ 子どもの権利擁護部会

【その他の部会】

- ① 親子いきいき保健部会
- ② 青少年部会
- ③ 支援を必要とする子どものための部会
- ④ 幼保推進部会
- ⑤ 子育て環境づくり部会
- ⑥ 子どもの健全育成推進部会
- ⑦ 子どもの意見反映・居場所づくり部会

(4) 審議会委員

<常任委員> 会長◎ 副会長○

氏名	団体・役職名等	氏名	団体・役職名等
◎安保 千秋	弁護士	小谷 裕実	京都教育大学 教授
石垣 一也	一般社団法人京都経営者協会 理事 事務局長	志澤 美保	京都府立医科大学 教授
石塚 かおる	京都児童養護施設長会 会長	杉本 五十洋	特定非営利活動法人全国認定こども園協会京都府支部 副支部長
和泉 景子	市民公募委員	竹内 香織	特定非営利活動法人京都子どもセンター 理事 公益財団法人京都市芸術文化協会 事業課長
稲川 昌実	公益社団法人京都市児童館学童連盟 会長	竹久 輝頭	公益財団法人京都市ユースサービス協会 事業統括
戌亥 慎吾	京都市PTA連絡協議会 会長	長岡 謡子	日本郵政グループ労働組合京都連絡協議会 事務局長
伊部 恭子	佛教大学 社会福祉学部 教授	中野 浩子	市民公募委員
井本 真悠子	市民公募委員	中村 信子	京都市保護司会連絡協議会 副会長
上田 七菜	市民公募委員	西島 千晴	市民公募委員
内海 日出子	公益社団法人京都市保育園連盟 副理事長	藤野 敦子	京都産業大学 教授
大束 貢生	佛教大学 准教授	藤本 明美	特定非営利活動法人京都子育てネットワーク 理事長
大野 一誠	市民公募委員	升光 泰雄	公益社団法人京都市私立幼稚園協会 監事
岡 美智子	京都障害児者親の会協議会 副会長	松田 義和	一般社団法人京都府医師会 理事
○川北 典子	大谷大学 前教授	山下 維久子	公益財団法人京都YMCA 子ども子育て支援事業部 部長
北川 憲一	京都市少年補導委員会 下鴨単位 会長	山下 和美	京都教育大学 教授

<部会別委員> 部会長★

① 親子いきいき保健部会

氏名	団体・役職名等
和泉 景子	市民公募委員
戌亥 慎吾	京都市PTA連絡協議会 会長
藤本 明美	特定非営利活動法人京都子育てネットワーク 理事長
池田 智子	公益社団法人京都市私立幼稚園協会 理事
石伏 穰	京都府栄養士会 副会長
禹 満	一般社団法人京都府医師会 副会長
大西 用子	京都産婦人科医会 理事
木下 直子	京都府看護協会 常任理事
坂口 慈孝	公益社団法人京都市保育園連盟 副理事長
嶽 みどり	京都市民生児童委員連盟 理事
長谷川 ユリ	京都市私立幼稚園PTA連合会OB会はのんの会 相談役
藤垣 真貴子	公益社団法人京都府助産師会 副会長
丸橋 泰子	特定非営利活動法人子育て支援コミュニティおらいすパワーアップ 代表理事
三浦 正人	公益社団法人京都市児童館学童連盟施設長会 副会長
宮井 真澄	社会福祉法人京都市社会福祉協議会児童館事業部 担当部長
★吉川 左紀子	京都芸術大学 学長
吉川 洋史	京都府歯科医師会 公衆衛生部員

② 青少年部会

氏名	団体・役職名等
戌亥 慎吾	京都市PTA連絡協議会 会長
井本 真悠子	市民公募委員
★大東 貢生	佛教大学 准教授
北川 憲一	京都市少年補導委員会 下鴨単位 会長
竹久 輝頭	公益財団法人京都市ユースサービス協会 事業統括
國重 晴彦	公益社団法人京都市児童館学童連盟 健全育成・子育て支援統括監
辻本 泰啓	京都労働局職業安定部訓練課 課長補佐
長者 美里	学校法人光華女子学園 常任理事・学園長補佐
前田 えり子	社会福祉法人京都市社会福祉協議会参加支援部 部長

③ 支援を必要とする子どものための部会

氏名	団体・役職名等
石塚 かおる	京都児童養護施設長会 会長
岡 美智子	京都障害児者親の会協議会 副会長
★小谷 裕実	京都教育大学 教授
西島 千晴	市民公募委員
有原 克典	京都市男女共同参画推進協会 専務理事
石田 光	京都市民生児童委員連盟 理事
渋谷 千鶴	京都知的障害者福祉施設協議会 児童発達支援部会長
芹澤 出	京都母子生活支援施設協議会 会長
土江田 雅史	公認会計士
増田 正昭	京都市里親会 会長
渡邊 洋子	京都市ひとり親家庭福祉連合会 副会長
特別委員	社会的養護経験者
特別委員	社会的養護経験者

④ 幼保推進部会

氏名	団体・役職名等
和泉 景子	市民公募委員
内海 日出子	公益社団法人京都市保育園連盟 副理事長
★川北 典子	大谷大学 前教授
杉本 五十洋	特定非営利活動法人全国認定こども園協会京都府支部 副支部長
中野 浩子	市民公募委員
升光 泰雄	公益社団法人京都市私立幼稚園協会 監事
伊佐 貴美子	市民公募委員
富田 宏子	市民公募委員
藤本 明弘	公益社団法人京都府私立幼稚園連盟 元理事長
丸橋 泰子	特定非営利活動法人子育て支援コミュニティおんいすパワーアップ 代表理事
矢島 里美	社会福祉法人京都市日本保育協会 副会長
山田 恵子	市民公募委員
吉田 正幸	株式会社保育システム研究所 代表取締役

⑤ (令和5年度)社会環境づくり部会→(令和6年度)子育て環境づくり部会

氏名	団体・役職名等
石垣 一也	一般社団法人京都経営者協会 理事 事務局長
稲川 昌実	公益社団法人京都市児童館学童連盟 会長
井本 真悠子	市民公募委員
竹内 香織	特定非営利活動法人京都子どもセンター 理事/公益財団法人京都市芸術文化協会 事業課長
長岡 謡子	日本郵政グループ労働組合京都連絡協議会 副議長
★藤野 敦子	京都産業大学 教授
藤本 明美	特定非営利活動法人京都子育てネットワーク 理事長
小柴 千裕	子育てサークルやんちゃあず 代表

⑥ 子どもの健全育成推進部会

氏名	団体・役職名等
稲川 昌実	公益社団法人京都市児童館学童連盟 会長
上田 七菜	市民公募委員
神内 貴司	京都市小学校長会 副会長
★神部 純一	滋賀大学 教育学部 教授
木戸 玲子	公益社団法人京都市児童館学童連盟施設長会 副会長
國重 晴彦	公益社団法人京都市児童館学童連盟 健全育成・子育て支援統括監
田島 知世	京都市立小学校PTA連絡協議会 副会長
廣瀬 千景	京都市立中学校PTA連絡協議会 会計
藤原 浩	京都市小学校長会 庶務

⑦ 子どもの意見反映・居場所づくり部会

氏名	団体・役職名等
★安保 千秋	弁護士
大野 一誠	市民公募委員
竹久 輝頭	公益財団法人京都市ユースサービス協会 事務統括
木戸 玲子	公益社団法人京都市児童館学童連盟施設長会 副会長
國重 晴彦	公益社団法人京都市児童館学童連盟 健全育成・子育て支援統括監
河野 由佳	京都市小学校長会 会計
永田 潤平	社会福祉法人京都市社会福祉協議会地域支援部 部長
村井 琢哉	特定非営利活動法人山科醍醐こどものひろば 前理事長

ア 児童支援部会

氏名	団体・役職名等
★伊部 恭子	佛教大学 社会福祉学部 教授
定本 ゆきこ	京都少年鑑別所 医務課長
三木 馨	公益財団法人こども財団 西日本子ども研修センターあかし 研修事業課長
山之口 泉	弁護士

イ 里親部会

氏名	団体・役職名等
石塚 かおる	京都児童養護施設長会 会長
石田 光	京都市民生児童委員連盟 理事
★徳岡 博巳	龍谷大学 非常勤講師/京都ノートルダム女子大学 非常勤講師

ウ 市営保育所移管先選定部会

氏名	団体・役職名等
★安保 千秋	弁護士
岡 美智子	京都障害児者親の会協議会 副会長
川北 典子	大谷大学 非常勤講師
中野 浩子	市民公募委員

エ 認可・確認部会

氏名	団体・役職名等
和泉 景子	市民公募委員
★川北 典子	大谷大学 前教授
中野 浩子	市民公募委員

オ 障害児通所支援事業所選定部会

氏名	団体・役職名等
岡 美智子	京都障害児者親の会協議会 副会長
★小谷 裕実	京都教育大学 教授
西島 千晴	市民公募委員
土江田 雅史	公認会計士

カ 子どもの権利擁護部会

氏名	団体・役職名等
竹久 輝頭	公益財団法人京都市ユースサービス協会 事業統括
★石田 賀奈子	立命館大学産業社会学部現代社会学科 教授
稲垣 紀夫	西日本こども研修センターあかし 研修企画員
佐々木 久実	弁護士
西村 木綿子	京都府まなび・生活アドバイザー スーパーバイザー

<前委員> ※ 団体・役職名等は在籍時のもの

氏名	団体・役職名等
大澤 彰久	京都市PTA連絡協議会 会長 ※令和5年6月13日まで
沖 豊彦	社会福祉法人京都市社会福祉協議会 事務局長 ※令和5年6月26日まで
小野 恵以子	社会福祉法人京都市社会福祉協議会生活支援部 担当部長 ※令和5年6月26日まで
中浦 正音	公益社団法人京都市私立幼稚園協会 理事 ※令和5年6月26日まで
山本 正	京都市民生児童委員連盟 理事 ※令和5年6月26日まで
井原 琉之介	市民公募委員 ※令和6年3月31日まで
窪田 定子	京都市保護司会連絡協議会 会計 ※令和6年3月31日まで
雑賀 隆子	市民公募委員 ※令和6年3月31日まで
中村 彰利	公益財団法人京都YMCAウエルネス事業部 部長※令和6年3月31日まで
永澤 萌絵	市民公募委員 ※令和6年3月31日まで
矢島 里佳	市民公募委員 ※令和6年3月31日まで
横井 真	社会福祉法人京都市社会福祉協議会地域支援部 部長 ※令和6年4月10日まで
中西 智佳	京都市小学校長会 副会長 ※令和6年6月22日まで
中本 貴久	京都市PTA連絡協議会 会長 ※令和6年6月22日まで
谷口 かおり	京都市立中学校PTA連絡協議会 会計 ※令和6年6月22日まで
長谷川 泰子	京都府看護協会 第一副会長 ※令和6年6月22日まで
細田 梨恵	弁護士 ※令和7年1月26日まで
永山 隆太	京都市交流促進・まちづくりプラザ 施設担当者 ※令和7年1月31日まで

(5) 京都市はぐくみ推進審議会・部会開催日程

https://www.city.kyoto.lg.jp/templates/shingikai_kekka/0-Curr-65-650.html

https://www.city.kyoto.lg.jp/templates/shingikai_kekka/0-Curr-65-640.html

ア 京都市はぐくみ推進審議会

開催年月日		会議名
令和5年度	6月26日	第1回 京都市はぐくみ推進審議会
	1月19日～2月2日 ※書面開催	第2回 京都市はぐくみ推進審議会
令和6年度	4月11日	第1回 京都市はぐくみ推進審議会
	10月25日	第2回 京都市はぐくみ推進審議会
	2月5日	第3回 京都市はぐくみ推進審議会

イ 京都市はぐくみ推進審議会部会

開催年月日		会議名
令和5年度	7月26日	第1回 幼保推進部会
	7月26日	第1回 社会環境づくり部会
	8月2日	第1回 青少年部会
	8月29日	第1回 子どもの健全育成推進部会
	8月30日	第1回 支援を必要とする子どものための部会
	9月5日	第2回 青少年部会
	9月7日	第1回 親子いきいき保健部会
	3月21日～27日※書面開催	第2回 支援を必要とする子どものための部会
令和6年度	6月4日	第1回 子どもの意見反映・居場所づくり部会
	6月25日	第1回 幼保推進部会
	7月29日	第1回 支援を必要とする子どものための部会
	8月5日	第2回 子どもの意見反映・居場所づくり部会
	8月9日	第1回 子育て環境づくり部会
	8月22日	第1回 青少年部会
	9月5日	第1回 子どもの健全育成推進部会
	9月9日	第1回 親子いきいき保健部会
	9月24日	第2回 支援を必要とする子どものための部会
	10月3日	第2回 子育て環境づくり部会
	10月4日	第3回 子どもの意見反映・居場所づくり部会
	10月15日	第2回 幼保推進部会
	10月17日	第2回 青少年部会
	11月18日	第3回 支援を必要とする子どものための部会
	12月20日	第3回 幼保推進部会
	2月6日	第4回 支援を必要とする子どものための部会
2月28日	第4回 子どもの意見反映・居場所づくり部会	

2 前計画の概要と進捗状況

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hagukumi/page/0000260990.html>

(1) 計画の位置付け

京都市の子ども・若者に係る総合的な計画であり、次の法定計画等に位置付けるとともに、教育分野の計画や大綱とも整合を図るもの。

位置 付け	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次世代育成支援対策推進法に定める市町村行動計画 ・ 京都市子ども・子育て支援事業計画 ・ 京都市新・放課後子ども総合プラン ・ 京都市ひとり親家庭自立促進計画 ・ 子育て安心プラン ・ 京都市貧困家庭の子ども・青少年対策に関する実施計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市母子保健計画 ・ 京都市社会的養育推進計画 ・ 京都市子ども・若者計画 ・ 障害児福祉計画
関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市の教育振興基本計画 ・ 京都市の教育に関する「大綱」 <p>※ とともに、京都市基本計画の該当部分に位置付けられています。</p>	

(2) 計画の期間

2020（令和2）年度から2024（令和6）年度までの5年間

(3) 進捗状況

年度	施策数			
		完了	推進中	着手前
令和2	210	0	210	0
令和3	210	0	210	0
令和4	210	0	210	0
令和5	210	0	210	0

3 市民ニーズ調査・意識調査の結果

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hagukumi/page/0000319573.html>

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hagukumi/page/0000318602.html>

(1) 調査対象

調査名	対象者
(1) 子育て支援に関する市民ニーズ調査	市内在住の小学校入学前児童の保護者 市内在住の小学生の保護者
(2) 家族や家庭生活のあり方に関する意識調査	市内在住の18歳から49歳までの市民
(3) ひとり親家庭に関する実態調査	市内在住の父・母子世帯
(4) 妊娠・出産・子育てに関する意識調査	乳幼児健診を受診した児童の保護者
(5) 青少年・若者の意識行動に関する調査	市内在住のおおむね13～30歳
(6) 放課後の過ごし方等に関する調査	小1・4・6年生の児童の保護者
	育成学級（小学生・中学生）の保護者
	総合支援学校の保護者

(2) 実施期間

2024（令和5）年10月～2025（令和6）年1月

(3) 調査方法

調査名	調査方法
(1) 子育て支援に関する市民ニーズ調査	郵送により配布、郵送又はWEBにより回収
(3) ひとり親家庭に関する実態調査	
(4) 妊娠・出産・子育てに関する意識調査	
(5) 青少年・若者の意識行動に関する調査	
(6) 放課後の過ごし方等に関する調査 （小1・4・6年生）	
(6) 放課後の過ごし方等に関する調査 （育成学級、総合支援学校）	学校により配布、郵送により回収
(2) 家族や家庭生活のあり方に関する意識調査	WEB回答方式

(4) 実施結果

ア 全体の実施結果

調査対象者 16,111 件

有効回答数 6,016 件（郵送 3,015 件、WEB 3,001 件）

有効回答率 37.3%

イ 個別の実施結果

調査名		配布数	有効回収数	郵送	WEB	有効回答率
(1) 子育て支援に関する市民ニーズ調査	小学校入学前	1,500 件	561 件	250 件	311 件	37.4%
	小学校	1,000 件	415 件	198 件	217 件	41.5%
(2) 家族や家庭生活のあり方に関する意識調査		—	1,000 件	—	1,000 件	—
(3) ひとり親家庭に関する実態調査		2,000 件	501 件	269 件	232 件	25.1%
(4) 妊娠・出産・子育てに関する意識調査		1,100 件	516 件	278 件	238 件	46.9%
(5) 青少年・若者の意識行動に関する調査		3,100 件	491 件	178 件	313 件	15.8%
(6) 放課後の過ごし方等に関する調査	小1・4・6年生	3,500 件	1,415 件	725 件	690 件	40.4%
	育成学級（小学生）	1,165 件	479 件	479 件	—	41.1%
	育成学級（中学生）	554 件	184 件	184 件	—	33.2%
	総合支援学校	1,192 件	454 件	454 件	—	38.1%

4 市民意見（パブリック・コメント）の募集結果

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hagukumi/page/0000335009.html>

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hagukumi/page/0000333577.html>

(1) 募集期間

2024（令和6）年11月20日～12月22日

(2) 配架・配布先

- ・市役所案内所、各区役所・支所、出張所において配布
- ・京都市情報館、はぐくもKYOTO、京都市はぐくみアプリ by 母子モに掲載
- ・市立小・中・高等学校、児童館、保育園、認定こども園、幼稚園、青少年活動センター等の関係機関への周知

(3) 募集方法

京都市情報館ホームページ内の専用フォーム、電子メール、FAX、郵送、持参

(4) 御意見数

意見者数：621人（通常版239人、やさしい版382人）

意見総数：1,898件

(5) 御意見をいただいた方の属性

ア 居住地

京都市内	京都市外	記載なし
550人	33人	38人

イ 年齢

5歳未満 (小学生未満)	6歳～12歳 (小学生)	13歳～15歳 (中学生)	16歳～18歳 (中学卒業～18歳)
8人	201人	49人	88人
19歳～22歳	23歳～30歳	31歳～35歳	36歳～39歳
51人	23人	22人	31人
40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
76人	21人	10人	9人
記載なし			
32人			

ウ 職業等 ※通常版のみ

会社員	公務員	自営業	フリーター	主婦・主夫
66人	8人	9人	2人	20人
学生	無職	その他	記載なし	
92人	3人	33人	36人	

(6) 御意見の内容

分類	件数
(1) 計画全般	72件
(2) 第Ⅰ部 計画の趣旨	29件
(3) 第Ⅱ部 第1章 本計画における重要事項	458件
①子ども・若者、子育てにやさしい「こどもまんなか社会」づくり	
②子ども・若者の意見反映	202件
③「居場所」と「出番」	215件
④子どもの育ち	284件
⑤多様な支援ニーズへの対応	172件
(4) 第Ⅱ部 第2章 施策の体系	289件
(5) その他の意見	177件

5 子ども・若者からの意見聴取の取組

(1) 青少年活動センターでの取組

ア アンケート及びヒアリング

テーマ：若者の声反映プロジェクト ～届け!!モヤモヤくん～

日程：2024（令和6）年5月～6月

場所：京都市青少年活動センター（7か所）

対象者	手法	回答数
青少年活動センター利用者（若者）	アンケート	783件
ユースワーカー（職員）	ヒアリング	16件

イ ワークショップ

テーマ：子ども・若者の声が届く仕組みを考えよう！～語ろう!!モヤモヤくん～

日程：2024（令和6）年6月23日

参加者：13人

場所：京都市中央青少年活動センター

ウ 市民対話会議

日程：2024（令和6）年9月9日

参加者：12人

公益財団法人京都市ユースサービス協会、ユースカウンスル京都

場所：京都市中央青少年活動センター

(2) 児童館での取組

ア アンケート

テーマ：居場所や過ごし方等について

日程：2024（令和6）年7月～8月

対象者：児童館、学童保育所を利用する子ども（自由来館含む）

回答数：5,298件

イ ワークショップ

テーマ：喜怒哀楽ごとに居場所を考えよう

日程：2024（令和6）年10月～11月

参加者：239人

場所：児童館等（10か所）

ウ 市民対話会議

日程：2024（令和6）年12月14日

参加者：30人

公益財団法人京都市児童館学童連盟、各児童館等を利用する子どもたち

場所：京都市七条第三児童館

(3) パブリックコメントの取組

ア やさしい版、やさしい版動画の作成

イ 市内小学校・中学校・高等学校・総合支援学校で、保護者向け情報発信アプリ「すぐーる等」で周知。子ども用端末「GIGAポータル等」にリンク掲載

ウ 「京（みやこ）こどもいばしょフェス」でのブース出展

日程：2024（令和6）年11月24日

場所：京都経済センター

6 幼保推進部会からの意見書

京都市はぐくみプラン〈2025-2029〉推進に当たっての意見

この度策定される京都市はぐくみプラン〈2025-2029〉は、昨今の急激な少子化の進行や人口減少など、これまでの常識では計ることのできない時代が到来している中で、京都市がどういったまちを目指すべきか、その姿が示されているものとなります。まさに京都市の子どもを社会全体で育てていくための羅針盤とも言える極めて重要な計画です。

私たち「京都市はぐくみ推進審議会 幼保推進部会」においても、未来の京都市を支える全ての子どもたちが安心して成長できる環境を今後も守っていくために、私たちは幼児教育・保育の現場に関わる立場から、「こどもまんなか」の視点に立ち、「子どもたちにとっての最善の利益」を考え、徹底的に話し合いを続けてきました。

時間的な制約や、行政計画という位置付けもある中で、私たち一人ひとりの想いを全てこのプランに盛り込むことは困難ではありますが、言うまでもなく、このプランを策定して終わりというものではありません。今後5年の間に、行政だけでなく、子どもに関わる全ての関係者や市民が、このプランの理念を踏まえてどう行動していくか、このことこそが極めて肝要であると考えます。

については、このプラン推進に当たって、下記のとおり、「京都市はぐくみ推進審議会 幼保推進部会」として意見を申し述べます。

記

- 一 少子化の進行や人口減少といった課題が、かつてないスピードで社会に変化をもたらす中にあることは、5年という計画期間にとらわれることなく、毎年必要な意見交換を行い、計画内容の更なる充実や見直しを検討していただきたい。
- 二 多様な価値観が尊重され、子どもの家庭環境も多様化する中で、京都市がこれまでに培ってきた「多様性」や「包摂性」を今後も重視し、子育て環境の更なる充実に取り組んでいただきたい。
- 三 全ての子どもや若者が身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる社会を実現するためには、行政・関係施設・地域・家庭が共に支え合う関係が極めて重要であり、それぞれの立場で働く方々のウェルビーイングの実現に取り組んでいただきたい。

令和7年3月
京都市はぐくみ推進審議会 幼保推進部会

京都市はぐくみプラン<2025-2029> (京都市子ども・若者総合計画)

【参考資料 資料集】

【発行】2025（令和7）年3月

京都市 子ども若者はぐくみ局 子ども若者未来部 育成推進課

〒604-8171 京都市中京区烏丸通御池下る虎屋町 566-1

井門明治安田生命ビル 2階

電話：075-746-7610 FAX：075-251-2322